

教育施策の大綱 (I 学校教育の充実の 1, 2, 3)

(主要施策)

1 地域に開かれた学校づくり・地域とともにある学校づくりの推進

(主要施策)

2 確かな学力を育む教育の充実

(主要施策)

3 授業力の向上

以前から取り組んでいる事業

ア 学校訪問・各種研修会の開催による教員の指導力の向上

- ・学力向上は授業改善から
- ☆ 付けたい力の明確な授業
- ☆ 学び合いの質の向上
- ☆ ふり返り、適用問題の確保

イ 学校の組織的な学力向上策への支援

- ・学力向上プラン、学力向上ロードマップの策定と実践
- ☆ 教員の意識改革および指導力向上の取組
- ☆ 児童生徒一人一人の学力向上の取組
- ☆ 組織的・継続的に推進できる体制づくり
- ☆ 安定的な学力向上システムづくり

ウ のみっ子漢字テスト・計算テストの実施

- ・各学期末に漢字と計算について市教委独自のテストを実施、各学校の実態を明らかにすることで全体の底上げを目指す。
- 一人一人の児童生徒・集団の状況把握ならびに個別の支援を各学校で実施

エ その他 (主な学力向上施策)

- ・教職員研修事業 H17～
- ・特別支援教育支援員配置事業 H17～
- ・フォローアップスクール事業 H20～
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業 H21～
- ・視聴覚機器等活用モデル事業 H22～
- ・心の教育 (人間関係力) 推進事業 H23～

H27 年度から

取組をスタートさせた事業

オ 学校教育支援地域本部事業 = 「学校元気アップ事業」 (生涯学習課)

※地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進し、児童の健やかな成長を育むと共に、学校教育の充実を図る。
地域住民の知識や経験を生かす場を広げ、活力に満ちた生涯学習社会の実現を目指す。

カ 「子ども笑顔塾」 (スポーツ課)

※小学 3、4 年生の希望者を対象に運動と学習 (算数) を組み合わせた放課後塾

総合型地域クラブ「デベロップ能美」を実施主体として開講

課題 学力調査の結果が県平均をやや下回っている。
” ” に学校間の差が見られる。
携帯、スマホの所持率が県平均を超えている現状がある。

今回新たに取り組む事業

キ 全国学力・学習状況調査の結果の公表

- ・市内の小学校・中学校の平均正答率と県平均・全国平均との比較について公表
- ・市内の児童生徒の学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する事項について、全国との比較で特徴的なものを公表

※市教委は市内全域の結果を、学校は自校の結果について統一した内容・様式・手法で公表する。

また、

- ① 教委で推進していくこと
- ② 家庭・地域の方々をお願いしたいこと

について方策を示し、各家庭・地域と共に、児童生徒の学力向上を目指して行く。

【公表することで考えられる効果】

保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組む具体的な足がかりとしたい。

課題 学力向上を含め、いじめ・不登校・発達障害・貧困者対策・保護者対策 等々

平成 28 年度以降で新たに取り組みたい事業

ク 総合的な学校力向上事業「チーム学校」

退職教員等を活用し、下記のような取組を展開、総合的な学校支援を行う。

- I 放課後学習支援 (小学校)
- II 家庭教育支援 (家庭教育アドバイザー)
- III 福祉と教育の更なる連携促進
- IV 若手教職員育成